

「アスリートイメージ評価調査」ロンドンオリンピック事後特別調査を実施
～ロンドンオリンピックで感動したアスリートは、「内村航平」「北島康介」「吉田沙保里」。
ロンドンオリンピックで期待以上の成績だったアスリートは、「村田諒太」「火の鳥NIPPON」「福原愛」。～

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区 社長:大森壽郎)は、株式会社博報堂DYスポーツマーケティング(本社:東京都港区 社長:豊田真嗣)、データスタジアム株式会社(本社:東京都世田谷区 社長:加藤善彦)と共同で、アスリートの総合的なイメージを測定する「アスリートイメージ評価調査」を行いました。今回はロンドンオリンピック事後特別編として調査を行っています。

今回の調査では、「ロンドンオリンピックで感動したアスリート」の1位に内村航平(体操)、2位に北島康介(水泳)、3位に吉田沙保里(レスリング)、4位に福原愛(卓球)、5位に松本薫(柔道)(敬称略、以下同)という結果となりました。また、「ロンドンオリンピックで期待以上の成績だったと思うアスリート」は、1位に村田諒太(ボクシング)、2位に火の鳥NIPPON(バレーボール)、3位に福原愛(卓球)、4位に関塚ジャパン(サッカー)、5位に藤井・垣岩ペア(バドミントン)。「ロンドンオリンピックで感動した競技」は、1位にサッカー(女子)、2位に体操競技(男子)、3位に卓球(女子)、4位に<水泳>競泳(リレーなど)、5位にバレーボール(女子)でした。

オリンピック前後の首都圏地上波におけるTV報道露出量(ニホンモニター調べ)の分析でも「感動したアスリート」1位の内村航平は、オリンピック前、オリンピック中、オリンピック後で、24,072 秒、100,953 秒、50,790 秒。「期待以上の成績だったと思うアスリート」1位の村田諒太は、2,231 秒、13,848 秒、52,709 秒と、報道量の変化が関心の高さを表しています。

また、「オリンピックの視聴形態」は、テレビの生中継(リアルタイム)で見た(79. 1%。事前の視聴予測調査では55. 2%)、テレビのダイジェスト(特集番組など)で見た(68. 8%。事前の視聴予測調査では54. 0%)、テレビの録画中継で見た(52. 9%。事前の視聴予測調査では35. 0%)となっており、オリンピックの盛り上がりとともに、リアルタイムで視聴する人が多かったことがわかります。

通常調査であるイメージ総合ランキング上位は、1位にイチロー(野球)、2位に澤穂希(サッカー)、3位に内村航平(体操)、4位に北島康介(水泳)、5位に浅田真央(フィギュアスケート)となっており、実力と人気を兼ね備えたアスリートが顔を揃える結果となりました。「好感もてる」アスリートは、1位に三宅宏実(ウェイトリフティング)、2位に石川佳純(卓球)、3位に入江陵介(水泳)、4位に竹下佳江(バレーボール)、5位に寺川綾(水泳)と、ロンドンオリンピックで活躍したアスリートが上位を占めています。

イメージ項目の「爽やかな」アスリートは、1位に入江陵介(水泳)、2位に内村航平(体操)、3位に錦織圭(テニス)、4位に石川遼(ゴルフ)、5位に鈴木聡美(水泳)となっており、ロンドンオリンピックでの活躍で脚光を浴びたアスリートが上位を占めています。

「パワフルな」アスリートは、1位に室伏広治(陸上)、2位に吉田沙保里(レスリング)、3位にウサイン・ボルト(陸上)、4位にアビー・ワンバック(サッカー)、5位に白鵬(大相撲)となっており、競技に取り組む姿勢と今後の期待を反映した結果でした。

また、「勢いを感じる」アスリートは、1位に内村航平(体操)、2位に香川真司(サッカー)、3位に松本薫(柔道)、4位にウサイン・ボルト(陸上)、5位に永井謙佑(サッカー)となっており、今後の期待が大きく反映された若手選手のランクインが目立っています。

この調査はCMキャストिंगの際に使用する基礎データとしての活用を主な目的とし、対象アスリートの認知、好意度のほか、博報堂DYメディアパートナーズが独自に構築した29項目のイメージ評価によるオリジナル調査です。

博報堂DYメディアパートナーズでは、今後も定期的に「アスリートイメージ評価調査」を実施し、アスリートのイメージ評価がどのように変化していくのか分析を行ってまいります。

■主な調査結果

1) “ロンドンオリンピックで感動したアスリート”は、「内村航平」「北島康介」「吉田沙保里」

- 1位：内村 航平(体操)
- 2位：北島 康介(水泳)
- 3位：吉田 沙保里(レスリング)
- 4位：福原 愛(卓球)
- 5位：松本 薫(柔道)

2) “ロンドンオリンピックで期待以上の成績だったと思うアスリート”は、「村田諒太」「火の鳥 NIPPON」「福原愛」

- 1位：村田 諒太(ボクシング)
- 2位：火の鳥NIPPON(バレーボール)
- 3位：福原 愛(卓球)
- 4位：関塚ジャパン(サッカー)
- 5位：藤井・垣岩ペア(バドミントン)

3) “ロンドンオリンピックで感動した競技”は、「サッカー(女子)」「体操競技(男子)」「卓球(女子)」

- 1位：サッカー(女子)
- 2位：体操競技(男子)
- 3位：卓球(女子)
- 4位：＜水泳＞競泳(リレーなど)
- 5位：バレーボール(女子)

4) “オリンピックの視聴形態”は、「テレビの生中継(リアルタイム)で見た」「テレビのダイジェスト(特集番組など)で見た」「テレビの録画中継で見た」

- 1位：テレビの生中継(リアルタイム)で見た(79.1%)
- 2位：テレビのダイジェスト(特集番組など)で見た(68.8%)
- 3位：テレビの録画中継で見た(52.9%)
- 4位：テレビの中継を自分で録画して、都合のいい時間に見た(11.6%)
- 5位：インターネットの生中継(リアルタイム)で見た(7.9%)

5) イメージ総合ランキング上位は、「イチロー」「澤穂希」「内村航平」

- 1位：イチロー(野球)
- 2位：澤 穂希(サッカー)
- 3位：内村 航平(体操)
- 4位：北島 康介(水泳)
- 5位：浅田 真央(フィギュアスケート)
- 6位：香川 真司(サッカー)
- 7位：リオネル・メッシ(サッカー)
- 8位：長谷部 誠(サッカー)
- 9位：室伏 広治(陸上)
- 10位：吉田 沙保里(レスリング)

6) “好感が持てる”アスリートは、「三宅宏実」「石川佳純」「入江陵介」

- 1位：三宅 宏実(ウェイトリフティング)
- 2位：石川 佳純(卓球)
- 3位：入江 陵介(水泳)

- 4位：竹下 佳江(バレーボール)
- 5位：寺川 綾(水泳)

7)“爽やかな”アスリートは、「入江陵介」「内村航平」「錦織圭」

- 1位：入江 陵介(水泳)
- 2位：内村 航平(体操)
- 3位：錦織 圭(テニス)
- 4位：石川 遼(ゴルフ)
- 5位：鈴木 聡美(水泳)

8)“パワフルな”アスリートは、「室伏広治」「吉田沙保里」「ウサイン・ボルト」

- 1位：室伏 広治(陸上)
- 2位：吉田 沙保里(レスリング)
- 3位：ウサイン・ボルト(陸上)
- 4位：アビー・ワンバック(サッカー)
- 5位：白鵬(大相撲)

9)“勢いを感じる”アスリートは、「内村航平」「香川真司」「松本薫」

- 1位：内村 航平(体操)
- 2位：香川 真司(サッカー)
- 3位：松本 薫(柔道)
- 4位：ウサイン・ボルト(陸上)
- 5位：永井 謙佑(サッカー)

■調査概要

- ・調査方法： Web 調査
- ・調査地区： 首都圏+京阪神圏
(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県)
- ・調査対象者： 対象エリアに在住の15～69歳の男女
- ・有効回収サンプル数： 600サンプル
- ・調査期間： 2012年8月21日～25日

■この件に関するお問い合わせ先

博報堂DYメディアパートナーズ	広報グループ	山崎・加藤	03-6441-9347
	統合コミュニケーションデザインセンター	大足	03-6441-9772